

センターだより第30号
令和8年1月9日

医療施設長 様

鹿児島市医師会臨床検査センター
センター長 上ノ町 仁

新規受託開始について（お知らせ）

日頃より当臨床検査センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目におきまして外注先の株式会社エスアールエルより、新規受託開始の案内がありましたのでお知らせいたします。
今後とも当検査センターをご利用賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

■ 受託開始日

令和8年1月9日（金）ご依頼分より

■ 新規項目内容

項目コード (4桁コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
2551200 (6204)	ノロウイルス RNA定性	糞便 0.5g	F00 (U)	凍結	2～8		RT-PCR (リアルタイムPCR)	検出せず	他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。依頼件数によって、所要日数が変動いたします。

臨床検査センターに関するお問い合わせやご意見等ございましたら、下記までご連絡ください。
連絡先：鹿児島市医師会臨床検査センター（099）226－8827

以上

● ノロウイルスRNA定性

リアルタイムRT-PCR法により、ノロウイルスのGⅠ/GⅡを高感度に検出します。

ノロウイルスは、冬季を中心に流行する感染性胃腸炎の主な原因として知られていますが、近年、調理従事者等による食品の二次汚染が原因と思われるウイルス性食中毒が増加傾向にあります。

ノロウイルスは手指や食品を介して体内に取り込まれ、腸管で増殖し、糞便および吐物中に大量に排出されます。ノロウイルスの排出は症状消失後も数週間にわたり継続すること、不顕性感染者が一定数存在しており、発症者と同様に糞便中からウイルスが検出されることが明らかになっており、新たな感染源となる可能性が指摘されています。

検査としては、イムノクロマトグラフィー法やELISA法による抗原検査が広く普及していますが、調理従事者等の非発症者を対象とした場合は、より高感度な検査法を用い、ノロウイルスを保有していないことを定期的に確認することが望ましいとされています。

本項目は、リアルタイムRT-PCR法により、糞便中に存在するノロウイルスのGⅠおよびGⅡを同時に検出いたします。最小検出感度は1反応あたり50コピーであり、概ね便1gあたり105オーダーのノロウイルスを検出可能です。調理従事者等の衛生管理や、感染性胃腸炎の診断補助にご活用ください。

▼ 疾患との関連

感染性胃腸炎
調理従事者等の衛生管理

▼ 関連する主な検査項目

ノロウイルス抗原
ロタウイルス抗原

●参考文献 Kageyama T, et al : J Clin Microbiol 41(4):1548～1557, 2003. (検査方法参考文献)

厚生労働省:大量調理施設衛生管理マニュアル(最終改正:平成29年6月16日付け生食発0616第1号), 2017. (臨床的意義参考文献)